

# RESIDENT RECRUIT BOOK

研修医募集案内



みんなの笑顔を守りたい。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

四日市羽津医療センター

ひとりでも多くの人を、笑顔にしたい。  
健康でいてほしい。  
私たちと一緒に夢を叶えましょう!

高い志と、強い意志、大きな夢を持った仲間達があなたを待っています。  
未来へのステップアップを目指し、ここからスタートしませんか?



## 病院理念

地域医療、地域包括ケア連携の要として、超高齢化社会に於ける  
地域住民の多様なニーズに応え、人々の生活を守る。

### 使命

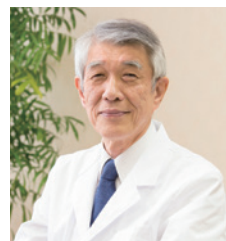
Mission

総合医の育成、専門医と協働・連携強化により、切れ目のない地域連携構築に貢献  
地域医療、地域包括ケアの要となる医療人の育成  
各自治体と協働し、住民が安心して暮らせる地域包括ケア実現

## 院長からのメッセージ

当院は、地域医療支援病院・地域がん診療連携病院の指定を受け、同一敷地内に老人保健施設・訪問看護ステーションを併設し、地域医療・地域包括ケア連携の要となる使命の遂行を目指しています。PET-CT、320列・64列CTなど最先端医療機器の先駆的導入や、併設する健康管理センターのIDを統合し、病院と健康管理センターの情報が共有できる電子カルテ導入により、地域住民の疾病予防・オーダーメイド医療の提供など、先進的な試みを行っています。大腸肛門病・IBDセンター、糖尿病センター、結石破碎センター、透析センターなどを開設し、地域住民や地域医師会に向けて当院の特徴を可視化した運営を行っています。また、高齢化社会の到来に備え、平成27年4月、地域包括ケア病棟を開設いたしました。

院長 住田安弘 三重大学卒 糖尿病内分泌内科



将来の進路を決めている研修医には、志向に合わせた選択ができ、初期研修をしながら専門性も養っていけるプログラムを設定し、進路が決まっていない研修医には、多くの診療科をローテートして、自己の適性を見いだせるプログラムを設定しました。研修医のニーズに合わせたプログラム設定が可能であり、プライマリ・ケアの医療技術の習得のみならず、患者さんに対する全人的対応の重要性を理解し、チーム医療に欠かせない医療人としてのコミュニケーションのあり方を学ぶことを目的としています。研修医であっても主治医となり、入院から退院までの一貫した治療計画に携わることで、自信の持てる満足度の高い研修となっています。

## 当院の特徴

大腸肛門IBDセンター

高度医療機器の導入

消化器内視鏡センター

地域包括ケア病棟

透析センター

女性外来

糖尿病センター

健康管理センター

結石破砕センター

介護老人保健施設





## 四日市羽津医療センター 卒業臨床研修MMCプログラム

### 募集要項

予定定員	6名
身分	常勤職員
研修手当	年収【1年次】約750万円 【2年次】約850万円 <small>※上記金額は、医師手当・賞与を含みます</small>
諸手当	超過勤務手当、宿日直手当、 通勤手当、住居手当、扶養手当 等
当直	月3回程度
休暇	週休2日制 年次有給休暇、夏季休暇、 年末年始休暇 等
宿舎	医員宿舎あり <small>※空き室がある場合入居可</small>
健康管理	健康診断(年2回)、予防接種 等

### 必須選択科目

【四日市羽津医療センター】  
内科・救急(麻酔科含む)・外科・小児科・  
産婦人科・精神科・地域医療

### 自由選択科目

【四日市羽津医療センター】  
内科(消化器内科・循環器科・腎透析科・糖  
尿病内分泌内科・脳神経内科・一般内  
科)、外科(大腸肛門科・消化器外科・乳腺  
外科)、整形外科、婦人科、泌尿器科

### 【臨床研修病院】

MMC臨床研修病院(16病院)

### 【協力病院、協力施設】

MMC臨床研修協力型病院(7病院)  
三重県十字血液センター  
国立三重病院  
総合心療センター ひなが  
北勢病院  
紀南病院  
小山田記念温泉病院  
いしが在宅ケアクリニック  
医療法人里仁会 二宮病院  
四日市医療生活協同組合 いくわ診療所  
あこず内科循環器科クリニック

● 院外研修は約6か月間可能です。希望  
進路を考慮し研修管理委員会にて検討  
し承認します。

● いずれのコースも診療科目、期間等  
の変更は希望に応じ可能です。また、協力  
医療施設の状況等により変更依頼する  
場合もあります。

## 基本研修プログラム

2年間で将来の希望を見すえた質の高い研修が受けられます。

基本 コース	1年目												2年目													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	内科 (24週)				救急[麻酔科] (12週内4週) *1				外科 (8週)				小児科 (4週)		産婦 人科 (4週)		精神科 (4週)		地域 医療 (4週) *2		自由選択					

\*1 基本的に、市立四日市病院、三重県立総合医療センターにて研修

\*2 研修協力病院・施設にて研修

## 研修プログラム例

### 研修医 A

1年目												2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
腎透析科	循環器科	消化器内科	糖尿病・ 一般・ 脳神経内科	外科	市立 四日市 病院 ER	麻酔科	小児科	市立 四日市 病院 産婦人科	総合診療 センター ひなが	整形外科	桑名医療 センター 整形外科	二宮病院 地域医療	腎透 析科	三重大 放射線科	糖尿病・ 一般	泌尿 器科	消化器内科						

### 研修医 B

1年目												2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器科	糖尿病・ 一般・ 脳神経内科	腎透析科	消化器内科	小児科	麻酔科	外科	整形外科	総合診療 センター ひなが	県立 総合 病院 ER	泌尿器科	市立 四日市 病院 産婦 人科	循環 器科	小児科	三重大 眼科	地域医療 紀南病院	外科							

## 夢を叶えた先輩たちのレポート

こんにちは。当院で初期研修を行った私が、当院での研修の魅力を紹介したいと思います。

まず、全体的な研修内容についてですが、必修科目や選択科目などの大きな研修予定はありますが、選択期間が非常に長く、自分の進路や希望によってスケジュールを組むことが可能です。また、1学年の研修医が3~4名程度と少人数なので多くの症例が経験でき、挿管やCVカテなど研修医として身に付けておきたい基本手技は十分な数が実践できます。

さらに当院研修の魅力は、このような手技的な面だけではなく、当院の研修医は、何も考えることなく単に指導医が指示した処方や検査のオーダーをするのではなく、研修医が主治医となり、自分で考えて指導医に相談しながら、その患者さん一人一人にあったきめ細やかな医学的管理を実践して、『外来から入院へ』、そして『入院から外来フォローへ』と、連続した治療計画を立てていきます。これは、医師としてのベースとなる力量を養うといった点において最適な環境であると考えています。

また当院は指導医の先生だけでなく、コメディカル、事務の方等病院スタッフみんなで研修医を育てようとしてくれる、すごくあたたかい雰囲気があります。

その他にも、実際に見てみないとわからない魅力がたくさんありますので、ぜひ一度見学にいらしてみてください。

また当院での見学時には、必ず研修医と1対1で話す時間を設けています。当院研修医の生活に少しでも興味や疑問がありましたら、そこでまた色々とお話ししましょう。病院見学を心よりお待ちしております。

研修  
修了者  
男性



研修医  
2年目  
男性

当院では研修医が主治医となります。例えば救急外来で自分が診療した患者さんが入院になったとしたら、その後も自分が主治医として、指導医の先生に逐一指導を頂きながら、患者さんやご家族と共に治療方針を決め、病気を治し、退院へ導く…ここまで全てに関わることがしばしばあります。これは研修規模が大きすぎることなく、自由度の高い、また自主性を重んじ基礎力を培っていきける風土を持つ当院研修プログラムの特徴と言えます。救急外来に張り付いて病棟での仕事がほとんどないという研修病院もあるなか、この初期研修医時代の経験は、大きな糧となることでしょう。

私が当院を研修先に選んだのは、救急外来での仕事を学びつつ、一方でそれだけに忙殺されることなく、主治医として病棟業務、患者さんやご家族との接し方、基本手技等様々なことがバランスよく学べると感じたからです。また三重県は、MMCプログラムが充実しているため、希望の専門科への院外研修が幅広く可能であり、2年間を総合的にみるとどの病院よりもムラのない充実した研修が出来ると思います。

しかし当院の研修プログラムは自由度が高い分、やる気や自主性、積極性が大切となります。やる気があればローテートにとらわれず参加することが可能で、どこまでもスキルが伸びていきけるそんな風土です。

私は当院で医師としてのスタートを切ることが出来てお世辞抜きでよかったと思っています。辛い経験をする但也有りますが、毎日充実した研修生活を送っています。

研修医の  
ある一日

7:50 出勤 ----- 8:00 消化器内科カンファレンス ----- 8:30 病棟回診 -----  
9:00 内視鏡検査・エコー検査 ----- 12:00 昼食 ----- 13:30 内視鏡検査・内視鏡的治療 -----  
15:00 救急患者診察 ----- 16:00 指導医と病棟回診 ----- 17:30 退勤

私たちと一緒に、夢を叶えませんか？



本棟



介護老人保健施設



健康管理センター

### 病院概要

独立行政法人 地域医療機能推進機構

四日市羽津医療センター

■開設／平成26年4月1日

■開設者／

独立行政法人 地域医療機能推進機構 理事長

■院長／住田 安弘

■附属施設

◆介護老人保健施設

◆健康管理センター

◆訪問看護ステーション

■病床数／226床(結核モデル病床17床含む)

■医師数／51名

■臨床研修指導医数／19名

■患者数／外来528.7名/日 入院156名/日

■標榜科

◆内科(消化器内科・腎透析科・

糖尿病内科・リウマチ膠原病内科・

呼吸器内科・腫瘍内科)

◆循環器科 ◆脳神経内科

◆外科(消化器外科・大腸肛門病IBD

センター・乳腺外科・呼吸器外科)

◆小児科 ◆整形外科 ◆婦人科

◆泌尿器科 ◆眼科 ◆耳鼻咽喉科

◆皮膚科 ◆放射線科 ◆麻酔科

◆精神科 ◆緩和ケア科

◆ペインクリニック ◆病理診断科

■託児所／有り

### ACCESS [交通のご案内]



名古屋市  
まで30分!

#### 近鉄

「阿倉川駅」下車、西へ徒歩8分

「近鉄四日市駅」下車、タクシーで約10分

#### 三重交通バス

羽津山経由 Jヒルズ行「病院前」下車

#### 車

東名阪 四日市東ICから車で10分



独立行政法人 地域医療機能推進機構

## 四日市羽津医療センター

基幹型臨床研修指定病院

〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号

TEL 059-331-2000 FAX 059-331-0354 <http://yokkaichi.jcho.go.jp/>

連絡先

担当者／総務企画課 臨床研修担当

〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号

TEL059-331-6331(直通) TEL059-331-2000(代表) E-mail : soumu@yokkaichi.jcho.go.jp



詳しくは  
コチラ!